

文芸 六ふたね

俳句

【桜川市岩瀬俳句会】

風よりも光に揺れて猫柳

細谷 充女

さくらさくらいつも手元に辞書を置き

萩原 きしの

天仰ぎ総身日を浴び春感ず

入山 ひろ子

ここからは見えているなり春障子

若色 すみ女

花吹雪くるりくるりと河馬の耳

渡部 千恵子

眠りても夢の中まで花吹雪

三代 みちよ

見上るや天より枝垂れざくらかな

小林 啓治

【茂山俳句会】

黒といふ力ありけり春の土

鈴木 ノブ子

母の世は多産むねうぶ競あそひ立ち

皆川 一女

測る度変る血圧木の芽寒

宮本 芳江

免許返上不自由なれど春の道

大関 くに

芽吹かんと一山力溜めてをり

吉原 秀子

一山を押し上げてゐる木の芽ばれ

鈴木 つぎ

鶯の意外な近き蹴止める

海老沢 幸子

倒木の芽吹きを急ぐ力かな

宮本 立男

筑波嶺を仰ぐ端山の初蕨

金子 弘毅

親も子も感極まりし卒園歌

今井 繁子

訪れる人なき庭に木の芽風

笠倉 陽子

戦国の武将の国や桃の花

海老沢 静夫

枝毎に芽吹き異なる櫛かな

植竹 ふみ

雑木林あちらこちらの花明り

松崎 いま

大櫛もろ手をあげて芽吹きけり

竹林 てる

先駆けて青む柳の母校かな

吉原 京子

妙音に雲流れゆく涅槃西風

君島 真理子

五風十雨山がふくらむ芽吹きかな

飯山 昭

短歌

【岩瀬短歌会】

はだれ雪庭をおほひて寒椿紅を散らせり黄もはつか見せ

鈴木 英雄

今どきは豆撒きなんてはやらんと愚痴りつつ

石田 守子

撒く高三の孫

石田 守子

両陛下の慰霊の旅の白菊はフィリピンの地の明かりとなさん

浜野和 操

おほらかな二十歳の孫に平和への思ひを送る
ちひろカレンダー

古賀 澄

寒の湯をうけて潤ほとびし土匂う山の墾田はらたの霜つ
よき朝

小林 美瑛子

雪のこる庭面へほのかに灯籠のあかりさしを
り大寒に入る

瀧井 幸子

北風の止みたる畦に仏の座むらさき小さく円
居ておりぬ

渡辺 しな子

寄せ鍋に師より賜はるぎんなんを家族と食め
ばしみじみ温し

大関 にち子

祖よりの広き畑は野となりて夏は夏草・秋は
秋草

萩原 きしの

一ぱいの寒水六腑にしみわたり萎えたる気分
奮ふるい立たせり

榎戸 正江

両陛下慰霊の旅を終へられて面輪やさしく帰
り来たりぬ

広沢 日出子

山あげび背伸びしながら蔓を引く高きところ
は小鳥に残す

泉 三郎

細雪こゆきすかに降るを眺めつついつしか我はね
ざらわれており

飯田 良江

新年の光まぶしき青空は命のみなもと
く吸う

浅賀 順子

幼き日友と遊びし里山に一人来たれば万作咲
けり

大久保 富美江

【二般投稿】

受験漬け孫の笑顔に涙して桜咲く日の我れは
待つのみ

稲川 好子

介護のご相談は

居宅介護支援事業所

さくらがわ

☎0296-20-6071

入所・短期入所・
通所リハビリテーション

介護老人保健施設

さくらがわ

☎0296-20-6071

URL:<http://www.douaikai.or.jp>

内科・外科・消化器内科・
循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科

延島クリニック

☎0296-58-5058